

# 上り帯域モニター (上り帯域分波混合回路付き)

## MODEL NUM770

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

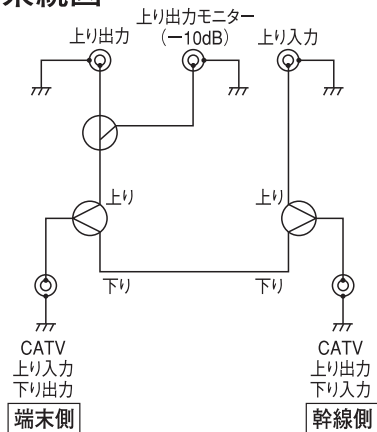
### ■特長

1. 本器はCATV上り帯域(10~60MHz)と下り帯域(70~770MHz)を分波していますので、下り信号を停波することなく上り信号のレベル調整を行うことができます。
2. 上りモニター端子(-10dB)で信号レベルを確認することが可能です。
3. ケースは接栓座とハウジングを一体化した亜鉛ダイカスト製、裏ブタは圧入装着式で、高度のシールド効果が得られています。

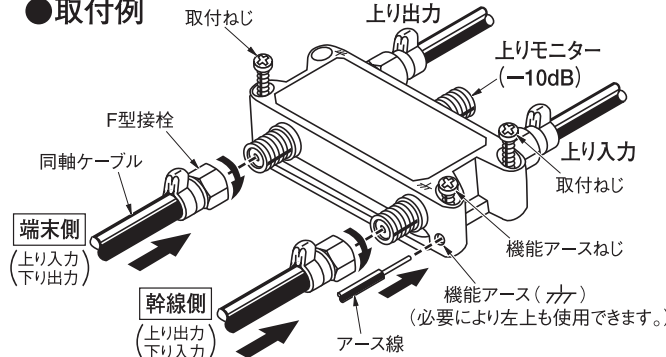
### ⚠注意

- 上り出力端子と上り入力端子間をケーブルで接続しないと、上り信号は停波状態になりますので、必ずケーブルで接続してご使用ください。
- 上り出力端子と上り入力端子間に増幅器を接続する場合は、上り専用アンプ(利得25dB以下)をご使用ください。

### ■系統図



### ●取付例



### ポイント

- 空端子がある場合は、ダミー抵抗をお求めのうえ、必ず接続してください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付コネクタをご使用ください。

### ■標準性能表

周波数帯域 (MHz)	10~60	70~770 (1000)
通過帯域損失 (dB以下)	2.8 ※1 2.2 ※2	2.2
入力・出力インピーダンス (dB)	75	
モニター結合量 (dB以内)	-10±1.0 ※3	—
阻止帯域減衰量 (dB以上)	40	30
電圧定在波比 (以下)	2.0	2.0
使用温度範囲 (°C)	-10~+40	
外形寸法 (mm)	高さ20.5 幅76 奥行57	
質量 (g)	100	

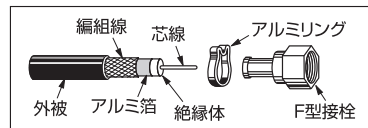
※1 端末側 CATV上り入力、下り出力→上り出力  
 ※2 上り入力→幹線側 CATV上り出力、下り出力  
 ※3 上りモニター結合量は上り出力に対しての値

### ●同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法 (別売品)

#### ◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

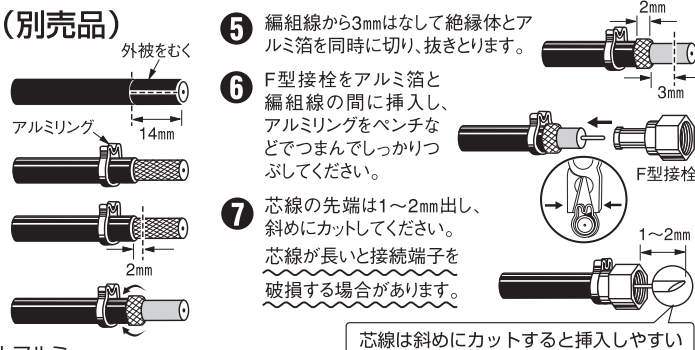
#### ■各部の名称



#### ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。(※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

- 1 カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)
- 2 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
- 3 外被から2mm程度はなして編組線を正しい位置に切り落としてください。
- 4 編組線をめくりあげます。



⚠注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m (約20kgf・cm)

お客様窓口

0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

## 日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221 (大代)  
 (ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。  
 5105357 平成27年10月